

留学先大学：ロンドン大学SOAS(東洋アフリカ研究学院)  
 留学先での所属学部・研究科：Japanese Exchange  
 留学先での在籍身分：NON-AWARD Associate Student  
 留学期間：2014年7月～2015年6月  
 神戸大学での所属学部・研究科：人文学研究科  
 学年（出発時）：M2  
 本報告書記入日：2014年12月10日

## 出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

SOASホームページ、留学体験記

## 住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- 住居（寮、アパート）の名前：Dinwiddy House
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）キッチンのみ共有(6人)
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：\_\_\_\_\_） その他（具体的に）フラット
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段：徒歩30分、
- ・住居の周りの環境はどうか。：

Zone 1, King's Cross駅徒歩5分。スーパーやレストラン等は一通り揃っていて便利。夜、道は明るい、やや治安が悪くなることも。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

基本的に自炊、時々外食

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

渡航前すぐ見つかった。部屋は選べずほぼ変更してもらえない。日本人は従順だと思われるので、状態の悪い部屋に当たることが多い。私の部屋はシャワールームの床の状態が悪かった。トラブルの際に論理的にクレームする準備が必要。

## 大学の授業について

### 1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）Onlineと書類のセット型
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

逆に選択肢は少なかったです（正規入学生で定員いっぱい、教授にサインをもらいに行った際に諸事情で断られる、他の授業とバッティングしている、など。友人の例です）

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

他授業との時間割バッティング

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Practical Translation English to Japanese	Dr Nana Sato- Rossberg	3	0.5	9	大学院生のみ履修可。毎週翻訳課題提出。3回In- Class Test。1回Essay提出。Final Examあり。
2	Readings in Modern Japanese Literature	Dr Midori Tanaka Atkins	3	1	20	大学院生・学部生履修可。毎週Reading課題と 英訳。2回Essay提出。Final Examあり。
3	Memory and Miritarism in Japanese TV Drama	Mr Andreas Kirsch	4	1	15	原則学部生のみ履修可。毎週Reading課題。授業ではドラマ のScreeningとDiscussion。3回Essay提出。Final Examなし。
4						※0.5単位 = 神戸大学の2単位です
5						
6						
7						
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

いずれも少人数授業で、教授との距離も近め。どの教授も丁寧な指導をする（希望者にはOffice Hourでの個人的な面談の時間も）。現地学生はみな真剣に授業に取り組む。質問や意見を言う時間が多い。クラスメイトの意見を尊重しつつ議論が進むきわめて良好な雰囲気。予習は質が高く量も多い。成績評価はEssayやExam中心。

## 一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日	
8:00	Translation Lecture (2h)	Literature Lecture (1h)					※授業以 外の時間 はほぼ図 書館で予 習や勉強 です。 (土日 も)	
9:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00						Translation Seminar (1h)		
14:00			Drama Screening + Discussion (4h)			Literature Seminar (2h)		
15:00								
16:00								
17:00								
18:00								
19:00								
20:00								
21:00								
22:00								

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

Pre-sessional Course 8-weekを受けることが留学の条件となったため、正規留学より2ヶ月前の月末に渡英しました。このコースは、英語の4技能を鍛え、正規留学に向けてスキルを培う集中語学コースです。最終的に2000wordsのEssayを提出、10分間のPresentationを行い、両方合格すれば修了となります。毎日4時間で、授業レベルは高く、課題も多く課されました。結論から言うと、このコースには大満足です。IELTSの点数に応じてクラス分けされるので、同じ語学レベルの留学生たちと切磋琢磨しながら英語を学びました。この8週間は意図的に1日中英語で過ごし、日本語を話しませんでした。おかげでこの2ヶ月で、特にListeningとSpeakingの力は大幅に上がったと思います。個人的な意見ですが、もしIELTSの点数をクリアしている場合でも、Pre-sessional Courseを最低4-weekは受講するとよいです。SOASでは成績評価でEssayの比率が高いですが、スタイルや構造が神戸大学で習うものとはかなり違っているからです。Pre-sessionalでは英文Essayの書き方をみっちり指導されるため、一般的なWriting力をしっかりとつけられます。また、Pre-sessionalでできた友人は、同じ苦しみや達成感を味わったよきライバルであるため、正規留学開始後も最も仲の深い友人となっています。

9月に正規留学が始まってすぐは、事務手続きでトラブルの連続でした。私は大学院生ですが、SOASのシステム上は肩書きが学部生となるそうです。最初はそれに対して事務に何度もクレームして受理されず疲れしました。また、神戸大学で単位互換を希望するならば、大学院の授業かつ神大での専門分野に関連する授業を履修する必要があります。私の専門はアメリカ文学ですがSOASでは比較文学や日英翻訳の授業を希望しました(※学部生向けの翻訳の授業はありません)。しかし、希望授業同士がバッティングしているケースが多く、難航しました。結果、学部生向けの授業を1つ取らざるを得ませんでした(※SOAS側では問題なし。学部生が院生向け授業を取ることはできません)。結果的には、授業3つとも非常に満足です。意見や質問を出しやすいので、積極的に発言しつつ友達の意見を聞き、理解を深めています。発言にはPre-sessionalでの英語漬けの日々が多いに役立っています。日々のReading量は非常に多く、Essayを書く回数も頻繁にあるので、ListeningやSpeakingだけでなくReadingやWritingの力もついたと思います。授業レベルはかなり高いといえます。

授業外の活動として、Language Exchangeや、現地学生との対話セッションに参加しています。SOASには日本学部があり、3年生は全員日本の協定校へ1年間留学する決まりです。そのため学生は日本への関心が高く、日本語の学習にも意欲的です。留学帰りの4年生はほぼ全員が日本語ペラペラ状態です。そのような意識の高い彼らと英語や日本語で対話することによって、日英両言語を鍛えることはもちろん、それらの違いや歴史、文化について考えています。英語を勉強すること＝日本語を封印して英語だけにこだわることでは必ずしもありません。それは日本語を見直すことでもあり、また双方の言語の背景にある文化を学び、異文化理解を深めることでもあると思っています。とにかくSOAS日本学部の友達から学ぶことは多いです。